

京都市上下水道事業 経営評価

概要版



京の水をあすへつなぐ
京都市水道創設100周年
100TH ANNIVERSARY OF WATERWORKS
CITY OF KYOTO

平成 23 年度事業

上下水道局マスコット
キャラクター



ひかりちゃん

料金はどんなことに
使われているのかしら？

京都市上下水道局 水道使用水量のお知らせ

検針区 100	お客さま番号 00016	水栓番号 90060	年度 23	期 6	戸数 1	呼び径 20 mm	メーター番号 10016
下水区分 区域内	汚水区分 水道のみ	用途 一般区	支払方法 口座振替				

京都 一郎 様

ご使用期間 12月1日 ~ 1月31日

今回 前回	指示 指示	数 数	1月31日
652 m ³	620 m ³	m ³ (月 日)	
40 m ³	32 m ³	前期使用水量	32 m ³

前年同期使用水量

水道料金	3,868円
下水道使用料	2,969円
ご請求予定額	6,837円

今回口座請求日 3月17日 消費税及び地方消費税相当額含む
次回検針予定日 4月1日 天候等により変更する場合があります

通信欄

水道料金等口座振替済のお知らせ

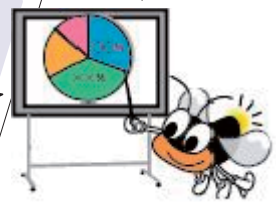
23年度 5期分
ご使用期間 10月1日 ~ 11月30日
水道使用水量 32 m³
汚水排出量 32 m³

振替金額	水道料金 3,868円
	下水道使用料 2,969円
	6,837円

お問い合わせ先
東山営業所
TEL 561-71

※上下水道局職員を装った訪問業者にご注意
京の水をあすへつなぐ京都市上下水道局
http://www.kyoto-suido.jp

上下水道局マスコット
キャラクター



すみと
澄都くん

平成 23 年度事業
の評価結果はどう
なっているのかな？

平成 24 年 9 月
～京の水をあすへつなぐ～
京都市上下水道局

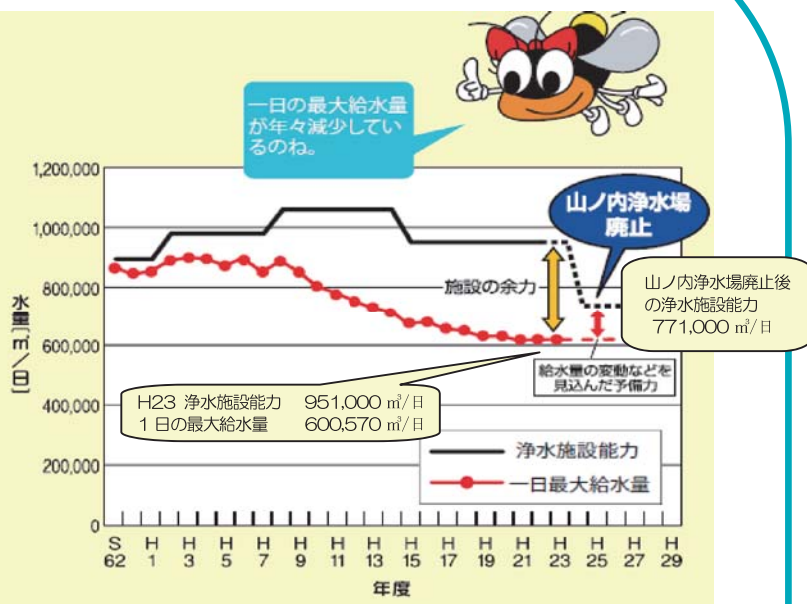
山ノ内浄水場廃止に伴う給水区域切替え

経営評価の対象事業の中から、市民の皆さまに身近で重要な事業をご紹介します。

なぜ浄水場の廃止が必要なの？

本市の水需要は、景気の停滞や節水機器の普及などによって、減少傾向にあり、今後もこの傾向は続くものと予測しています。

水需要の減少に伴い、浄水場の施設に必要以上の余力が生じているため、平成24年度末に**山ノ内浄水場を廃止**することにより、**施設規模の適正化**を図り、より一層効率的な事業運営に取り組むためです。



廃止に伴う財政効果（見込み）

- ・施設更新に必要な**建設事業費の縮減額** …… 約130億円
- ・維持管理費（**人件費、物件費**）の**削減額** …… 約4億円／年
- ・繰上げ償還に伴う**企業債利息の削減額** …… 約7億円

給水区域の切替えて？

現在、京都市では4つの浄水場からお客さまへ水道水を供給しています。

給水区域の切替えは、山ノ内浄水場を廃止することにより、これまで山ノ内浄水場から給水していた区域へ、他の浄水場から給水を行うために、**水を送る経路を変更する作業**のことです。作業期間は、平成24年2月から平成25年6月までで、その間に20回程度切り替え作業を行います。



給水区域切替えについては、p7「施策目標Ⅲ－1」の取組項目のひとつです。そちらも併せてご覧ください。

上下水道事業の経営評価

上下水道局では、平成29年度までに取り組むべき課題や目標を示す「京(みやこ)の水ビジョン(2008―2017)」とその前期5箇年の具体的な実施計画である「中期経営プラン」に基づき、様々な事業を進めています。

経営評価は、上下水道経営戦略のPDCAサイクルの一環として、毎年度その事業を振り返り経営指標評価と取組項目評価の2つの方法で評価し、今後の事業運営などに活用しています。

経営指標評価

財務面を中心とした客観的な業務指標を用いて、収益性や生産性など6つの区分から上下水道事業の経営状況の評価・分析を行いました。
2ページへ

取組項目評価

京の水ビジョンに掲げた5つの施策目標の達成に向けて取り組む22の重点推進施策と102の取組項目について、進捗状況の点検・評価を行いました。
4ページへ

上下水道経営戦略



京都市上下水道経営戦略



「京(みやこ)の水ビジョン」

ビジョンで掲げた基本理念の下、私たち上下水道局に課せられた社会的な役割や使命を果たしつつ、上下水道サービスの質的な向上を図っていくため、「安全・安心」、「環境・くらし」、「安定・維持向上」、「サービス」、「経営」といったキーワードを基本とした5つの施策目標掲げ、その達成に向けて22の重点推進施策を設定しています。

基本理念

くらしのなかにはいつも水があります。

私たち京都市上下水道局は、先人から受け継いだ、水道、下水道を守り、育くむことにより、皆さまのくらしに安らぎと潤いをお届けしたいと考えています。そして、ひとまちくらしを支える京の水をあすへつなげます。

「中期経営プラン」

ビジョン前期5箇年の実施計画であり、5つの施策目標の実現に向け、事業推進、効率化、財政健全化の3つの計画で構成されています。

事業推進計画	102の取組項目を推進
第4期効率化推進計画	業務の効率化、企業改革を推進
財政健全化計画	累積収支の均衡・改善に努め、財政の健全化を推進

「次期経営計画」策定に向けて

今年度が最終年度となる「中期経営プラン」について、プラン全体の進捗状況等の点検・精査と更なる事業推進を図るとともに、平成25年度からの「京の水ビジョン」後期5箇年実施計画となる「次期経営計画」の策定を進めています。

次期経営計画では、地震をはじめとする災害対策や老朽化した施設の改築更新、今日の社会状況等を踏まえた料金制度の見直し等に取り組んでいきます。

経営指標評価

財務指標を中心とした業務指標により、6つの評価区分を用いて経営状況の改善度や中長期的な経営分析を行っています。

水道事業

99未満 99以上101未満 101以上
22年度を100として改善度を示しています。

23年度
22年度

⑥ 費用

98.7



1 m³の水道水をつくるコストは、160.7円です。コスト削減に努めましたが、それ以上の水需要の減少により、少し高くなりました。大都市※平均と比べると、11.7円（6.8%）低コストです。

⑤ 料金

100.2



1 m³当たりの水道水の平均価格は、153.2円です。大都市※平均と比べると、15.9円（9.4%）低価格です。

① 収益性

97.7



水需要の減少により、水道料金収入は減少しました。しかし、経費削減努力により、5年連続の黒字決算となりました。

② 資産・財務

100.7



黒字決算となったことなどにより、自己資本構成比率が向上しました。

③ 施設の効率性

99.2



水需要の減少により、浄水場の稼働率は減少傾向となっています。

④ 生産性

100.9



水道メーターの点検業務の民間委託化などで職員定数を削減しました。

公共下水道事業

⑥ 費用

99.8



1 m³の下水を処理するのにかかるコストは、105.5円です。大都市※平均と比べると、33.3円（24.0%）低コストです。

⑤ 使用料

100.2



1 m³当たりの下水道使用にかかる平均価格は、127.2円です。大都市※平均と比べると、14.5円（10.2%）低価格です。

① 収益性

99.0



下水道使用料収入は減少しましたが、経費の削減に努めたことにより、2年連続の黒字決算となりました。

② 資産・財務

105.0



企業債（借金）の残高削減を進めるなど、財務体質の強化に努めました。

③ 施設の効率性

100.3



雨の影響等により処理水量が増加し、施設の稼働率は少し上がりました。

④ 生産性

101.8



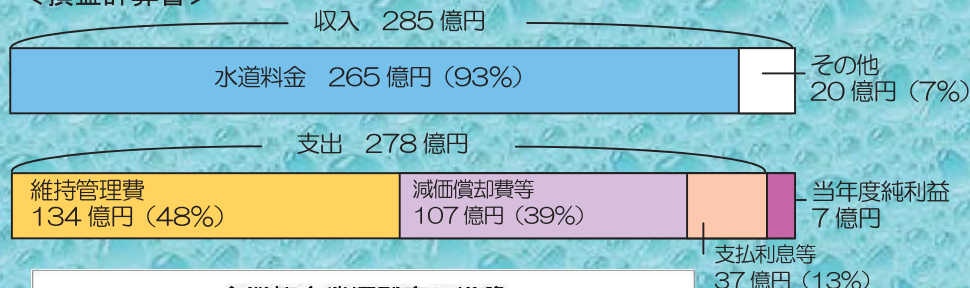
業務見直しなどにより、職員定数を削減しました。

※ 大都市比較は、東京都及び平成23年度における政令指定都市（水道事業では県が主に運営する千葉市、相模原市を除く計18都市、公共下水道事業では地方公営企業法を適用していない相模原市を除く計19都市）で比較しました。

上下水道事業の財務状況(平成 23 年度決算)

水道事業

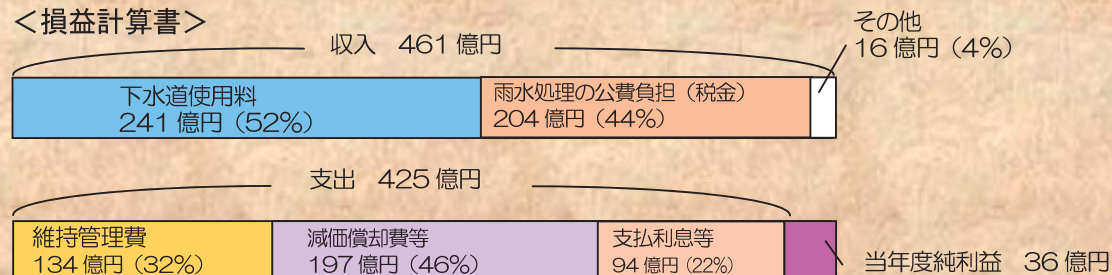
<損益計算書>



水道料金収入は、前年度と比べ 2.6 パーセント(△7 億 900 万円)減少したものの、支出においては各種経費の削減などの取組を着実に進めた結果、5 年連続の黒字決算(6 億 9200 万円)となりました。企業債の残高は、前年度の水準をほぼ維持しました。

公共下水道事業

<損益計算書>



下水道使用料収入が前年度と比べ 2.2 パーセント(△5 億 5200 万円)減少したものの、支出においては各種経費の削減の取組などにより、2 年連続の黒字決算(36 億 2500 万円)となりました。しかし、企業債の返済の資金が不足しているため、実質の資金黒字は 8 億 7400 万円となります。企業債の残高は前年度と比べ 2.7 パーセント減少しました。

水道事業及び公共下水道事業の財務情報、連結財務諸表等は上下水道局ホームページに掲載しています。そちらも併せてご覧ください。

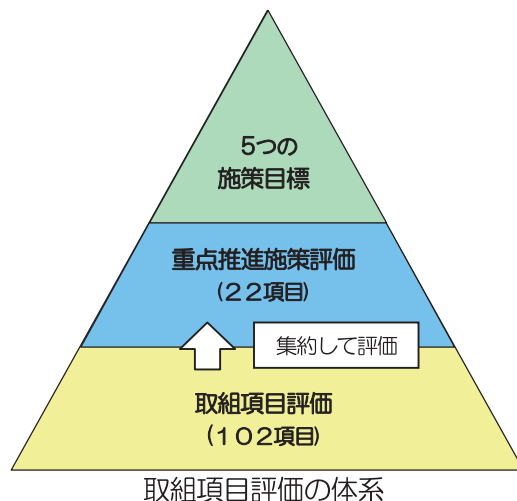
●京都市上下水道局トップページ ⇒ 経営情報 ⇒ 財務情報(予算・決算・連結財務諸表)

取組項目評価

取組項目評価では、京の水ビジョンに掲げる5つの施策目標の実現に向けて平成23年度に取り組んだ102の取組項目及びその上位に位置する22の重点推進施策に対する達成度を5段階で評価しました。



取組項目評価は、年度ごとの目標に対する達成度を評価しているのよ！



水質への不安払拭のための鉛製給水管の解消や経営環境の変化に対応した経営の効率化などを推進したことにより、22の重点推進施策のうち、A評価が12施策、B評価が10施策となりました。



評価方法は、



の5段階評価

十分に達成
されている

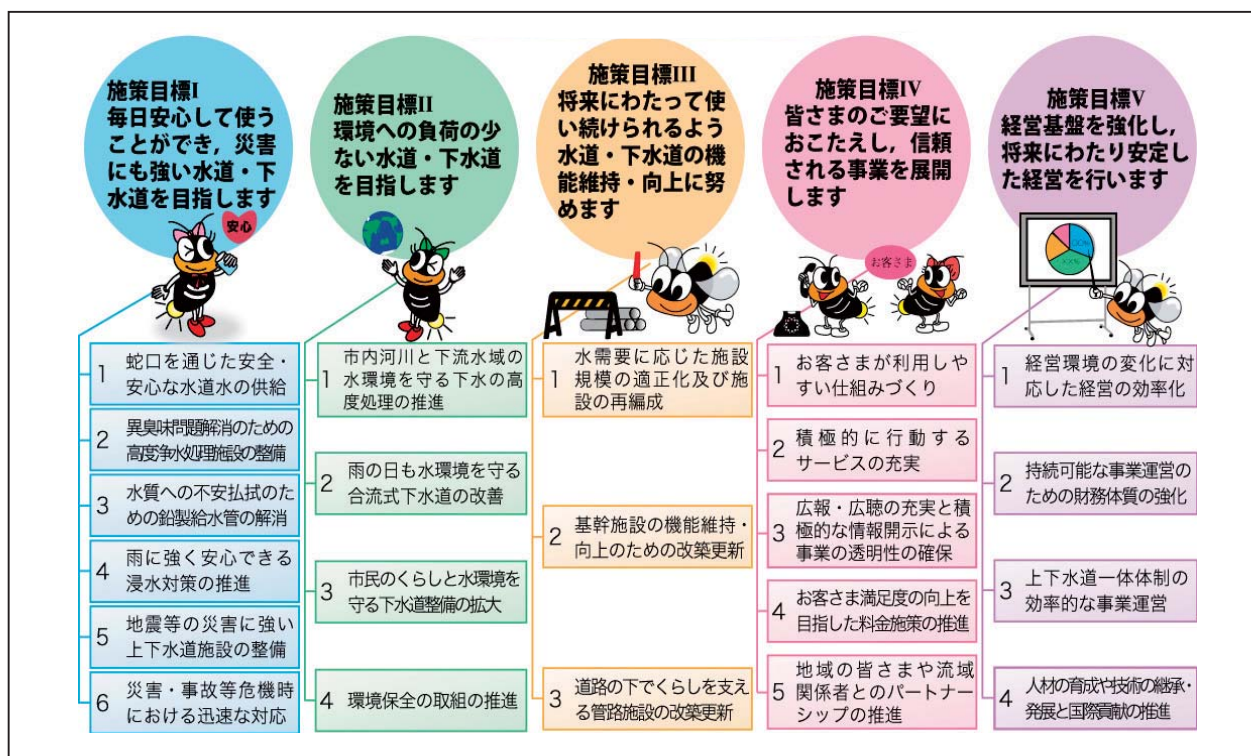
かなり達成
されている

そこそこ達成
されている

あまり達成
されていない

達成されて
いない

＜京（みやこ）の水ビジョンの5つの施策目標と22の重点推進施策＞



施策目標Ⅰ 毎日安心して使うことができ、災害にも強い水道・下水道を目指します

1 蛇口を通じた安全・安心な水道水の供給

蛇口を通じて安全・安心な水道水を、安定して効率的に供給します。

平成23年度の主な実績と評価

水道全体の水安全計画の策定完了
直結給水の拡大 295 件増加（目標 240 件）

評 価
A

2 異臭味問題解消のための高度浄水処理施設の整備

水道水の異臭味を解消し水質基準を遵守するために、高度浄水処理施設を段階的に整備します。

平成23年度の主な実績と評価

蹴上浄水場粉末活性炭接触池築造工事の継続実施

評 価
A

3 水質への不安払拭のための鉛製給水管の解消

平成 20～29 年度の 10 年間で、道路部分の鉛製給水管を全て解消します。

平成23年度の主な実績と評価

道路部分の鉛製給水管の単独取替え 12,800 件（目標 12,000 件）
補助配水管や配水管の布設替え等に関連した鉛製給水管の取替えの推進 5,409 件（目標 6,000 件）
鉛製給水管取替の助成 78 件（目標 70 件）

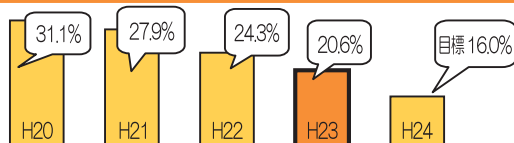


▲左：鉛管，右：取替後

評 価
A

道路部分の鉛製給水管の割合（％）

$$= \frac{\text{道路部分の鉛製給水管の使用件数}}{\text{給水管件数}}$$



4 雨に強く安心できる浸水対策の推進

10 年に一度の大雨に対する安全度を確保します。

平成23年度の主な実績と評価

久世高田調整池築造工事完了
浸水箇所の解消に向けた検討
雨水貯留施設設置の助成 146 件（目標 120 件）

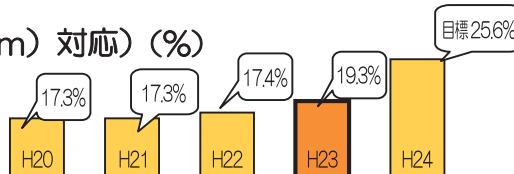


◀雨水調整池の整備工事

評 価
B

雨水整備率（10 年確率降雨（1 時間 62mm）対応）（％）

$$= \frac{\text{浸水対策済区域面積}}{\text{公共下水道事業認可区域面積}}$$



5 地震等の災害に強い上下水道施設の整備

地震等の災害に強い上下水道施設を整備するとともに、災害リスクを分散し、被災しても被害が少なく、早期に復旧が可能な水道・下水道を構築します。

平成23年度の主な実績と評価

水道管路、下水道管路の耐震化工事の継続実施
浄水場、水環境保全センター等基幹施設の耐震化工事の継続実施



▲配水管耐震化工事

評 価
B

6 災害・事故等危機時における迅速な対応

あらゆる危機においても迅速に対応できるよう、危機管理体制を強化します。

平成23年度の主な実績と評価

応急給水訓練の継続的な実施
応急貯水槽操作マニュアル作成

評 価
A

施策目標Ⅱ 環境への負担の少ない水道・下水道を目指します

1 市内河川と下流水域の水環境を守る下水の高度処理の推進

閉鎖性水域である大阪湾、瀬戸内海の富栄養化を防止するためには、窒素除去が急務であることから、窒素除去に重点をおいた下水の高度処理を、処理施設の更新時期に併せて段階的に推進します。



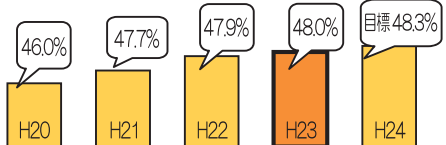
▲下水の高度処理により甦る清流

平成23年度の主な実績と評価

高度処理基本計画の見直し完了
高度処理施設の整備（鳥羽水環境保全センターB系高度処理施設築造工事実施）
水質目標値の見直し実施と継続的な水質監視
未規制物質等の継続的な情報収集

高度処理人口普及率（％）

= $\frac{\text{高度処理実施区域内人口}}{\text{高度処理が必要な区域の人口}}$

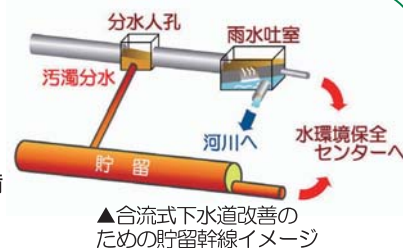


評価

B

2 雨の日も水環境を守る合流式下水道の改善

雨天時に合流式下水道から流出する汚水の混じった雨水やゴミ等を削減する改善対策を、達成期限(平成 35 年度)を見据え、積極的に推進します。



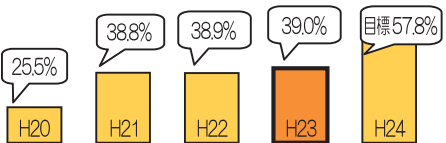
▲合流式下水道改善のための貯留幹線イメージ

平成23年度の主な実績と評価

雨天時に下水を一時的に貯留する幹線等の整備
雨天時下水処理の改善検討
雨水吐の流出抑制対策の実施

合流式下水道改善率（％）

= $\frac{\text{合流式下水道改善済面積}}{\text{合流式区域面積}}$



評価

B

3 市民のくらしと水環境を守る下水道整備の拡大

計画区域内の未整備箇所や北部地域など必要な下水道整備を推進します。

平成23年度の主な実績と評価

大原、静原、鞍馬及び高雄地区での下水道整備の実施

評価

B

4 環境保全の取組の推進

環境マネジメントの継続的な取組により、省エネルギー対策、未利用エネルギーや資源の有効活用を一層図り、京都議定書誕生の地として、地球温暖化対策に積極的な役割を果たします。



▲浄水場の太陽光発電設備

平成23年度の主な実績と評価

太陽光発電設備の継続運用
浄水場、水環境保全センターにおける電力使用量の削減
上下水道事業一体の環境報告書の発行

評価

A

琵琶湖疏水記念館のご案内

●開館時間

3月1日～11月30日
午前 9:00～午後 5:00（入館は午後 4:30 まで）
12月1日～2月末日
午前 9:00～午後 4:30（入館は午後 4:00 まで）
※動物園からも入館できます。

●休館日

毎週月曜日（ただし月曜日が祝日・振替休日の場合は、翌平日）
年末年始（12月28日～1月3日）

入館
無料



施策目標Ⅲ 将来にわたって使い続けられるよう水道・下水道の機能維持・向上に努めます

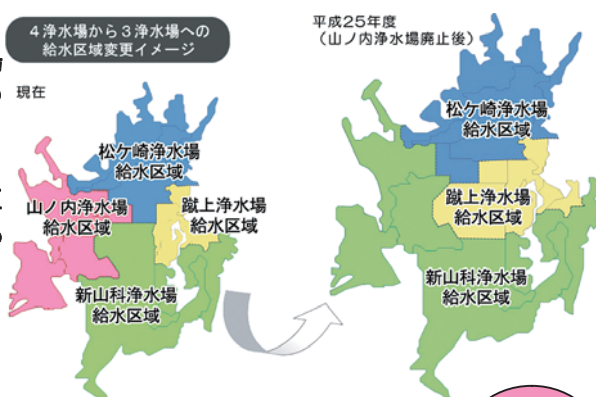
1 水需要に応じた施設規模の適正化及び施設の再編成

【水道】

山ノ内浄水場を廃止して、現状の4浄水場体制から3浄水場体制とすることにより、浄水場の施設規模を水需要に応じたものに適正化します。

【下水道】

鳥羽処理区と吉祥院処理区の統合等により、施設規模の適正化を図りながら、水質規制強化や環境保全に効率的に対応する施設体系へ再編成します。



平成23年度の主な実績と評価

山ノ内ポンプ場整備工事の継続実施
石田・伏見水環境保全センターから鳥羽水環境保全センターへの
汚泥圧送施設整備の継続実施

評価
B

2 基幹施設の機能維持・向上のための改築更新

基幹施設の適正な維持管理を行うとともに、急増する経年施設に対し、老朽化や重要度等から総合的に優先度を判定し、計画的に改築更新を進めます。更新時には地球温暖化対策や施設機能の向上等を図ります。

平成23年度の主な実績と評価

松ヶ崎浄水場送水ポンプ取替工事の完了
水環境保全センター、各ポンプ場の改築更新工事の継続実施

評価
B

3 道路の下で暮らしを支える管路施設の改築更新

計画的かつ効率的に改築更新を行い、非常時を含め一日たりとも休むことができない水道・下水道の機能を維持・向上させるとともに、漏水や道路陥没事故を防ぎます。

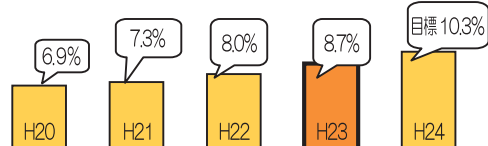
平成23年度の主な実績と評価

配水管の計画的な更新
下水管路施設の計画的な点検・改築更新
効率的な改築更新手法の検討

評価
B

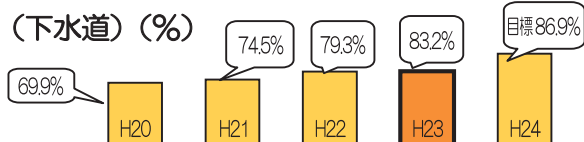
管路の耐震化率（水道）（％）

= $\frac{\text{耐震管延長}}{\text{管路総延長}}$



経年管（戦前に布設した管路）対策率（下水道）（％）

= $\frac{\text{経年管対策済管路の延長}}{\text{戦前に布設した管路の総延長}}$



配水管の老朽化について

水道事業においては、現在、配水管更新のペースアップと耐震化の促進が重要課題となっています。しかし、老朽化した配水管の更新事業を推進するための財源については、料金水準が低い本市においては国などからの補助金はほとんどなく、企業債に依存しています。こうした状態が続くと、一層の財政状況の悪化を招くため、財源の確保が大きな課題となっています。



施策目標Ⅳ 皆さまのご要望におこたえし、信頼される事業を展開します

1 お客さまが利用しやすい仕組みづくり

夜間・休日を含めた受付方法の充実など、より一層お客さまが利用しやすいサービスを推進します。あわせて、より高水準なサービスを提供するための仕組みづくりを進めます。



▲お客さま窓口サービスコーナーの様子

平成23年度の主な実績と評価

電話・ファクシミリ・インターネットでの給水申込受付の継続実施
新料金システムの改善などお客さまサービスの継続実施

評価
A

2 積極的に行動するサービスの充実

来所いただくのを待ち受けるのではなく、必要に応じてお客さまの所に訪問することで多様化・高度化するニーズに迅速かつ的確に対応し、信頼される事業を展開します。

平成23年度の主な実績と評価

休日における開閉栓業務の継続実施 出動件数 4,149 件
開栓時の「水道便利袋」お渡しサービスの継続実施 30,546 件
貯水槽水道への戸別訪問 500 件（目標 400 件）

評価
A

3 広報・広聴の充実と積極的な情報開示による事業の透明性の確保

広報・広聴機能の充実を図るとともに、積極的な情報開示を進め、お客さまとの信頼関係の向上を図ります。



水道創設 100 周年
記念事業ロゴマーク



▲地下鉄を活用した広報

平成23年度の主な実績と評価

水道創設 100 周年記念式典・イベントの実施
地下鉄を活用した広報の継続実施
広報紙「京の水だより」の発行
一般公開（鳥羽水環境保全センター・蹴上浄水場）の開催
「水に関する意識調査」の結果公表

評価
A

4 お客さま満足度の向上を目指した料金施策の推進

サービス水準の維持・向上を図りつつ、できる限り現行の安価な上下水道料金水準を維持していくことを基本として、財政状況を踏まえ、可能な限り、お客さまのご要望や利用実態に合わせた満足度の高い施策の展開に努めます。

平成23年度の主な実績と評価

民間分譲マンションの水道メーター各戸検針・各戸徴収サービスの申請受付開始
上下水道料金制度審議委員会の設置・審議の開始（年度内3回）

評価
B

5 地域の皆さまや流域関係者とのパートナーシップの推進

地域の皆さまや上流・下流双方の流域関係者と共通の理念や目標を持ち、相互の情報交換、協働、連携を深めたパートナーシップによるさまざまな取組を進め、琵琶湖・淀川流域全体としての上下水道事業の充実と水質の維持・向上に努めます。

平成23年度の主な実績と評価

雨水貯留施設設置の助成 146 件（目標 120 件）
下水道利用に関する啓発・指導
南禅寺水路閣の管理計画作成完了

評価
A

民間分譲マンションの 各戸検針・各戸徴収サービスを実施しています！

●サービス内容●

上下水道局がお貸しする水道メーター（有料）を分譲マンションの各戸に設置していただき、一戸建て住宅と同様に上下水道局が水道メーターの検針を行い、お使いになられた水量に基づく水道料金等を、直接、各戸のお客さまから口座振替によりお支払いいただくサービスです。当サービスは、管理組合の代表者等の申請により適用させていただきます。

●申請者●

管理組合の代表者、新築マンションの建築又は分譲事業主等

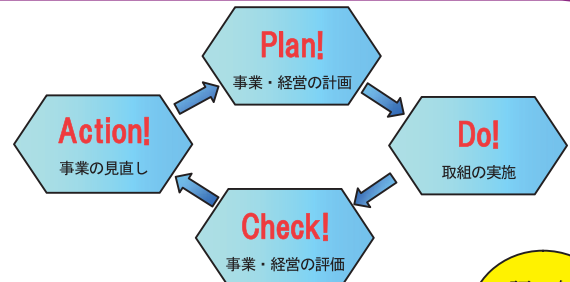
●受付窓口●

市内9箇所にある担当営業所にご相談ください。
適用条件等、詳細をご説明いたします。

施策目標Ⅴ 経営基盤を強化し、将来にわたり安定した経営を行います

1 経営環境の変化に対応した経営の効率化

公営企業としての存立基盤を堅持しつつ、可能な限り民間活力の導入に努めることにより、事業規模に応じた職員数の適正化を図るとともに、経営分析や評価を活用した効果的な経営管理に努めるなど、民間的な経営手法を積極的に導入して、最大限の効率化に努めます。



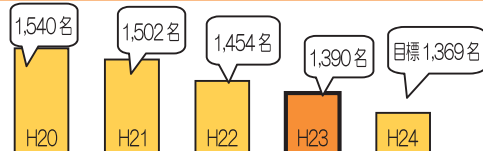
▲PDCAサイクルのイメージ図

評価
A

平成23年度の主な実績と評価

水道メーター点検業務の民間委託化の推進
経営評価審議委員会の運営、意見の公表

職員予算定数の削減（人）
（水道事業及び公共下水道事業）
＝ 上下水道事業に従事する職員の定数



2 持続可能な事業運営のための財務体質の強化

水需要に応じた施設規模の適正化により、建設再投資額等を抑制するなど、市民の皆さまのライフラインを確実に守れるよう、財政の健全化を推進します。

平成23年度の主な実績と評価

山ノ内ポンプ場整備工事の継続実施
企業債発行の抑制及び繰上償還の実施
ミスト装置設置による水道水のPR



▲簡易型ミスト装置の設置
（市内保育所の様子）

評価
A

3 上下水道一体体制の効率的な事業運営

上下水道事業に共通する業務の共同化・集約化を図るとともに、両事業の会計の一体的な管理や、料金・財務の連結を推進し、一体的な経営を行うことにより、水道料金単価と下水道使用料単価を合わせて、大都市平均より安価な料金水準を維持します。

平成23年度の主な実績と評価

工事施行に関する基準・要綱等の共通仕様書の運用
連結財務諸表の作成及び市会への提出

評価
B

4 人材の育成や技術の継承・発展と国際貢献の推進

上下水道事業に求められるサービス精神と経営感覚を持つ企業職員を育成します。あわせて、技術の継承・発展を目指した総合的な技術力の向上を実現していくとともに、将来を担う人材を育成します。

平成23年度の主な実績と評価

民間企業への派遣研修の実施
所属長マニフェストの策定・公表
技術指導及びセミナーへの職員派遣（西安市）
訪日技術研修生の受け入れ実施（西安市）



▲訪日技術研修の様子

評価
A



（490ml入／本）

飲料水の確保については
1人1日最低3ℓの水が
必要とされています！

京都市が誇る水道水を工場で処理後、缶詰（アルミボトル）にしたので、災害用備蓄飲料水として役立てていただくのはもちろん、普段の飲料水としても、冷やしていただくと、より一層おいしく飲んでいただけます。

※配達にはケース単位で京都市内（一部除く）に限ります。

災害用備蓄飲料水
「京の水道 疏水物語」を
実費でお分けいたします。

金額

2,400円（税込み、1ケース24本）、
ケース単位でお分けします。

賞味期限

製造後、常温・未開封で5年間

購入方法

上下水道局お客さま窓口サービスコーナー又は市内9営業所へ電話、FAX又は来所していただきお求めください。また、ご自宅等までの配達*も承ります。（配達料は無料）

上下水道事業環境会計（平成 23 年度）

水道事業では、省エネ機器の導入による電力削減等により、環境保全コストが 0.9 億円、環境保全効果が 2.4 億円となりました。その結果、コスト対効果の収支は、1.5 億円の黒字となっています。

下水道事業では、下水処理過程における電力の削減や公害防止等により、環境保全コストは 19.9 億円、環境保全効果は 22.0 億円となりました。その結果、コスト対効果の収支は 2.1 億円の黒字となっています。

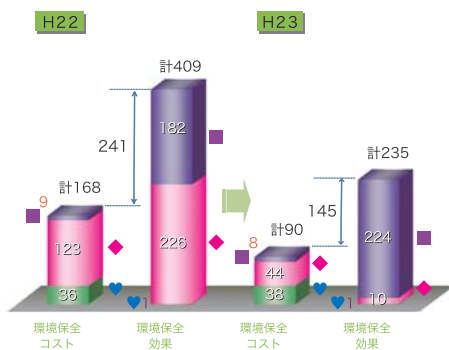
水道事業

環境会計（百万円）

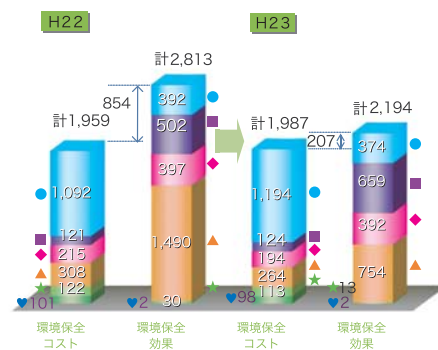
下水道事業

- 電力削減など
環境負荷の抑制
- ◆資源の有効利用
- ♥ヒートアイランド
対策他

（グラフと上記取組項目の色と
記号が対応しています。）



計量法（省令）改正に伴い、基準が変わり水道メーターの再利用が不可能となり資源の有効利用が減りました。



汚泥処理工程で発生するばいじん量が少なく、昨年度と比べてばいじんの削減量（環境保全効果）が減少しています。なお、ばいじん等の大気汚染物質の排出濃度は、昨年度と同様に基準値を大幅に下回っています。

- 高度処理
- 電力削減など
環境負荷の抑制
- ◆資源の有効利用
- ▲処理過程における
公害防止
- ★事業場排水の規制
- ♥ヒートアイランド
対策他

（グラフと上記取組項目の色と
記号が対応しています。）



※環境会計とは？

環境会計は、環境保全の取組を効率的・効果的に進めるため、取組にかかったコストと得られた効果を、可能な限り金額で表し説明する仕組みです。

※環境保全コストとは？

環境保全の取組にかかる費用です。維持管理費と設置した施設の建設費（減価償却費）の合計です。

※環境保全効果とは？

環境保全の取組による経済効果です。取組を実施する場合としない想定した場合の、環境汚染物質による被害量の差を金額換算したものです。

「京都市上下水道事業経営評価」（本冊）もご覧ください。

上下水道局では、「効率的かつ効果的な市政の実現を図る」こと、「市民の視点に立った市政の実現を図る」ことを目的として経営評価を実施し、評価結果について公表しています。

この冊子は、その概要版に当たるもので、より詳しい評価結果は、[上下水道局ホームページ](http://www.city.kyoto.lg.jp/suido/)又は市情報公開コーナー等で本冊をご覧ください。

●ホームページアドレス <http://www.city.kyoto.lg.jp/suido/>

上下水道事業経営評価

検索

市民の皆さまのご意見・ご提案をお聞かせください。

このたびは「京都市上下水道事業経営評価（概要版）」をご覧いただきありがとうございました。

私たち上下水道局では、皆さまからの貴重なご意見・感想をもとに、今後ともより分かりやすい経営評価への改善やより良い事業運営につなげていきたいと考えています。

経営評価をはじめとする上下水道事業に関するご意見・ご提案は、

[上下水道局ホームページ（経営評価のページ）](http://www.city.kyoto.lg.jp/suido/)

の経営評価についてのご意見・ご提案メールまで



澄都（すみと）くん、Twitter 始めました！

@sumito_kyoto

京都市上下水道局Twitter公式アカウント

発行 京都市上下水道局 総務部 総務課

〒601-8004 京都市南区東九条東山王町 12 番地

TEL 075-672-7709 FAX 075-682-2711